

刊夕日九廿月八



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五字一円 十字一円二角 二十字一円五角
 日曜 祭日の日 休刊
 印刷 常磐毎日新聞社
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社



旅の片々 [二]

平 署 千代田 金平

塵一つない五十鈴川に、手洗を使へば遊魚は水音に人懐こく慕ひよるさまは、伊勢ならでは見られぬ景、萬物融合を目のあたり見せらるゝの思ひがする。老杉は天を摩し、幽禽の聲微かに耳底に傳はり細雨に洗はれた氣は冷やかに身に迫り神苑なればこそ。と一しほの神々しさに身も心も引緊まるのを覚えるのであつた。誰人もが思ふであらう、思ひに反した簡素な社前に額づけば、西行法師ならずとも

宜いのだらう。直ちに自動車を買つて熱田神宮に向ふ本日(二十二日)は丁度尙武祭で大變な賑はひ、人、人

たばかりで、木の香も新しい。参拜に愉快を感じ乍ら、直ちに名古屋に引返した。

戊辰戦役の回顧

御 臺 境 平 陽 山 人

打ち打つの音はこたまし敵味方 野山にかくれつゝ烟たつ 新川町口

かちまけのけじめ如何にやまたには 火の手あがりてときの聲する 新川 堤

ふりつゝ雨のくさむらつゝ烟 ずは攻め来しか敵は堤に 六 間 門

高き名をつゝのひびきに揚げにけり 門をまもりの相馬將監 本 丸

大づゝに小づゝのひびきときの聲 あなけたゝまし勝つか敗るか 落 城

ねばたまの雨夜のほの雲にたち 城は落るか空こがすなり 星霜七十年 ありし日のなやみも今は昔にて 世はおほらかに移り来しかな (舊盆十三日平 落城す)

人の洪水だ。僅かの時間だ 自動車を降りると直ちに人波を縫つて社前に急ぐ。 昨年遷宮式が行はせられ 梯子は四段に延びて總高 さ一百尺、獨逸製だとなる 南消防署でも國産品購入の 計畫中との事である。

工 事
 電燈、動力、新設増設及改修
 ネオンサイン設計及取付
 甲種、乙種、電話設備
 工業特設電話設備
 呼鈴及室内電話設備
 専屬電工を置き材料の撰擇と親切をモットーとして 工事致します。何卒御引立の程御願ひ申し上げます

通信局 日東商會
 公認 平二・電話四二八番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
 醫學士 鈴木 正男
 平町三町 (電話五八番)
 藤田女學校前
 自炊の需めに應ず 入院の便あり

御 禮
 生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣 盡し有難う存じます。 就ては御禮として **毎土曜日**を **黒ビールデー**として御奉仕いた します。

平 會 館
 電話 六二四

齒科口腔外科
レントゲン科

平町土橋通り 電話三一三番
原齒科醫院
 院長 東京齒科 醫學士 原 精一

石炭 平 驛 前
 コークス
 豆炭
阿部石炭店
 電話三十七番

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

舊七月十四日十五日十六の三日間 是非御覽下さい
 今秋染織界の王座卓越せるその技術 **秋冬衣大陳列會**

振 袖 丸	帶 江 戸 樓
錦 紗 小 紋 袋	帶 訪 問 着
殿方御召二枚重	殿方無双御羽織
長 襦 袢	羽二重友仙 銘 仙
着尺モスリン	友禪モスリン
	夜具地

平町三丁目
三井吳服店
 電話三三八番

吉田眼科醫院
 平紺屋町 電話 六八番
 醫學士 吉田 久雄

仕入品は...

二割方の増加

地獄の蓋も開くと云ふ舊盆祭來に平地方は一大消費地と化する爲め各商店は此の大需要に順應すべく東京方面から商品をドシ／＼大量に仕入るのでこれらお盆用仕入品の殺到で平驛は普通一日の到着數五百噸が實に八、九百噸に激増し二十七日の如きは九百九十二噸と云ふ最高記録を出してゐるその内の大物は盆中の炭礦休山見越しに石炭が平日より二百噸増加して五百噸、製氷不足で移入される氷が百噸、臺所用品では鹽類、砂糖の各六十噸、小麦粉三十五噸、ビール二十五噸、酒八噸、小口扱品では菓子

汽自動車で一稼ぎ

舊盆の平驛

平驛は既記の如く臨時列車のダイヤを發表し更にガソリンカーの三臺連結運轉を計畫する等舊盆対策に萬全を期してゐるが昨年の舊盆三日間の乗降客は乗車が一

大島の健兒行

少年團教育と實習所

渡邊啓二

(日課)

日課の主なることは所長よりの少年團健兒教育概論とが沿革とが經營法とかの講義を承り、其の間に、少年團に關する唱歌、遊戯、作業が分配されて、變化ある指導方法である。この教育の主眼とする處は名譽と忠君愛國の觀念を眞に淨化せしめ、身心共に強健ならしむる武士道精神をくみたる社會教育である。家庭教育と學校教育との連鎖を計り

の十六噸が最高酒十三噸、反物十二噸等で驛構内倉庫はギンシリになつてゐる大體今朝日で盆用仕入品の到着は終つて市内各方面に消化されるが本年の仕入品は二割方増加してゐると

梨の出荷

關係者協議

平驛では來月三日水戸運輸事務所主催で本郡下生産の梨果の輸送に關し、農會果樹組合關係者が參集協議近く出荷期に備へることになつた

日立製作

採用試験

平驛は既記の如く臨時列車のダイヤを發表し更にガソリンカーの三臺連結運轉を計畫する等舊盆対策に萬全を期してゐるが昨年の舊盆三日間の乗降客は乗車が一

健兒の環境、校外の惡の誘惑より脱せしめる勤勞、職業、藝術、宗教、體驗の諸教育を合一したる而も兒童心理の研究の上に立つ教育である。其の指導方法は英國よりとるも精神とイデオロギは日本精神に基づくものである。唱歌は「少年團歌」「光の路」「一日の終」等の外「野營の歌」「森の氣」ふくろの歌」等、健兒の生活にあつた歌詞歌曲である。仕事の合間に森より、谷より天幕より聞こゆる兄弟健兒の調に、つり込まれる様な歌である。遊戯は、この教育の特色ある一つで、教育の遊戯化遊戯の訓練化を

萬二千三百九十四人降車一萬二千三百三十六人で約五千圓の收入を挙げたが本年はガソリンカーの運轉で七千圓近い増収を見やうと汽自動車運轉に主力を注へてゐる

第一小學校講堂に於て郡下一帯の志願者に對し施行されるが試験科目は算術、國語(尋卒程度)口答試問等であるが更に希望者は當日前に同紹介所迄申込みたい

造船工の募集

平驛

業紹介所には目下川崎造船所艦船工場養成工二百八十

店頭飾り窓から

「防空」を呼び掛る

來九日平地方並に縣下一帶に行はれる防空演習に關し防空演習指導部では各地の商工會並に商工會に呼びかけて一般に同思想普及宣傳を爲すことになり平町に之が協力量依頼されたので町役場では地元、商工會

時作業、急救法、手技等がある、結索法は常に健兒が腰にしたるロープにて垣根を結び荷造、架橋等の時に用ひられる垣根結、支柱や網を兩方からひつばる場合や繩梯子を作る場合に用ひられるインキ結、舟を繋ぐ時に使ふので舳結と云ふ人を吊下げたり引上げる時にも用ひられる結び方、如何に引張つても解ける心配のない二重接等の研究である團杖の操法とは「杖門の禮」とか「下げ杖」「觸杖の禮」等健兒としての杖を持ちたる作法にて、又之が應用も廣く、護身用、據架用、渡河用、急救用、消火用、挺

名的大量の募集あり、同紹介所員は之が開拓に大童になつてゐるが年齢は満二十才以上二十五才迄の高卒者で來月十日から二十二日までの間に郡山紹介所で詮衡試験を行ふが詳細は同所に問ひ合せられたいと、試験工の初給一圓二十錢で本工に進んで三ヶ月間は一圓五十錢

に獨創的な案を練り宣傳することになる模様である

湯本野球

組合せ決定

第四回湯本町内對抗軟式野球大會は卅日午前九時から十二チーム參加左記組合せで舉行される

△第一回戦
A(御幸町)
B(無盡會社)
C(湯本局)
D(表横町)
E(白煉瓦)
F(入山東區)
G(小學校)

△第二回戦
A(勝者)
B(入山青葉)
C(入山辰ノ口)
D(湯本局)
E(湯本局)
F(東町)
G(湯本局)
H(湯本局)

△準決勝
F(湯本局)
G(湯本局)
H(湯本局)

産業組合は組合事業の擴充を計る爲め近く郡部會役員を招き講演會を開く筈

△白銀町九當時樺太豊原郡豊原町大字豊原松本ヨシさん(七二)

△番匠町四〇中柴二郎さん(六ツ)

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

△録田町二五當時東京市世田ヶ谷區下成田町二三四入江長治氏二女治子さん

是非!

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます

公債、債券、質物、一般
三井質店

平・四 電六〇六番

踊り抜く人達の顔も明るく

冷な夜空に響く大太鼓

けふ焚く迎火が盆の序曲

愈々待ち焦れた盂蘭盆はやつて来た此の地方が古くから誇る祖先への敬慕と崇拜の心が特異な郷土色を象徴して具現される迎へ火と

十五日とめなれば殆ど真晝からローカル味たつぷりな風俗と調子で平町に集まり翌十六日から十七日

ものに松竹の「花嫁くらべ」新興の「曉の爆音」をひつさげ平町は前回は一篇を上映して地方映畫フアンの人

踊と念佛 とのトリオを以つて今日舊十三日の招魂會のゆかしき行事を序曲に舊盆の蓋は開けられる例

に四ヶ所にあげられる櫓の下に數百の踊子の群が集まり圓を描いて豪華な盆風景

「嫁入り前の娘達」パンデ意氣込んでゐる

都會化と 平町の道路舗装關係で幾分昔日の面影がうとくなつて居るとは

に踊り抜く人達の顔は明るく、街から街へ雪崩込む人達の群も明朗な風景である

平町を中心にして地方一帯に繰り広げられる豪華な盆踊は左記の如きプロで催され

盆だ休みだおれらの世界！と一年中の束縛から解放された徒弟や女中さん、それに在方から出て来る農漁山村の人達の盆小遣にふくらんだ懐を狙つて平町うちの二つの常設館世界館、平館

盆景氣を一手にと

映畫陣華々し

晝夜二回の興業に

兩館必死の策戦

では夫々特別大興行と銘打つて華々しい特作陣を張り女中氏、徒弟氏の興味を唆つて居る世界館は映畫フアン待望の林長、絹代のコンビが演ずる濃艶華麗な超巨弾篇「お夏清十郎」を出し

平町を中心にして地方一帯に繰り広げられる豪華な盆踊は左記の如きプロで催され

平町三町目大谷時計店方前

明日のラヂオ

三十日

今晩の部

- 後六、〇〇 うたのけいこ「子供のテキスト八月」
- 後六、二五 趣味講座 史蹟巡り「鎮西八郎為朝と肥後の雁回山」鈴木登
- 後七、三〇 子供と家庭の夕べ 唱歌 大阪放送合唱團(桃谷中継) 2物語「水揚のほとり」村瀬幸子
- 3 ヴァイオリン 獨奏と獨唱 遠藤磨里子 木村美

丸市魚店入賞

平町四丁目丸市魚問屋は今春開催の岐阜、富山を始め全国各地の博覽會に經節、鹽辛を出品好評を博し何れも入賞して大いに面目を施した

清田檢事別宴

既報盛岡地方裁判所檢事に榮轉された平區上席檢事清田一郎氏は来る九月五日頃出發赴任するが同氏の送別會は九月二日午後五時半から住吉屋本店で平區監督判事中山十藏、平町長青沼鋒太郎、辯護士新田日善次郎、平署長柴田鶴作の諸氏發起の下に催される會費は三圓の由

機關庫書記が亂暴

泥酔して同僚を散々殴る

昨二十八日午後五時頃神谷村鎌田半機關庫書記鐵道手鈴木金明(三三)同村農澤田米次郎(三三)の兩名は同村鐵道員堀富三郎(三三)方へ泥酔の上酒を吞ませると暴れ込み拒絶されたのに憤慨誠にす

裁判一束

- △酌婦騙しの湯本町字日渡
- △一三八詐欺窃盗前科五犯無職赤坂幸一(三三)に係る詐欺事件の判決言渡しは今二十九日午前十時半から平區で
- △西判事係り氏家檢事立會の下に開廷判事から求刑通り懲役十ヶ月を言渡された
- △神谷村大字鎌田字岸染物業山名具(三三)同大字鹽字風内農佐藤太一(三三)草野村大字下神谷字宿樂行商菅原幸太郎(三三)同車大工根本勝

明日の部

- 前六、三〇 速成獨逸語講座 登張信一郎
- 佐子 4ラヂオドラマ「蓬萊」胡蝶座 5管絃樂「古典輕音樂」大阪ラヂオオーケストラ(桃谷中継)
- 後九、〇〇 時事解説「ナマヅナス土地問題とブラジル移民」野田良次
- 後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報

平職案紹介所報告

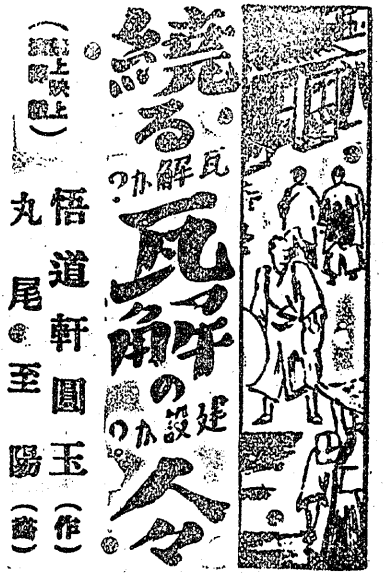
- △出前持 十八才迄 拾五圓
- △小店員 十九才迄 拾十圓
- △尋卒以上
- △雜役 二十才迄 拾十圓
- △トラック助手 二十才前 後 拾圓
- △女中 二十才迄 拾六圓
- △女中 十五才位 拾圓
- △寫真術見習 二十才迄 拾圓
- △給仕着小使 高女卒程度

職を求め方

- △見習看護婦 二十二才
- △見習保母 實科女卒 二十二才
- △給仕 十八才 高卒
- △漁夫 二十七才 尋卒
- △同 二十五才 尋一修
- △店員 十八才 高卒

中島雅樂之都社中

- 後一、五〇 芝居囃子「宮島繪巻」江戸のまつり」芳村伊久四郎他
- 後二、一〇 浪花節劇「淺太郎涙の月影」中村昇他
- 後二、五〇 義太夫「奥州安達原」官野喜助 俚謠「最上川を下る」後藤岩太郎他
- 後六、〇〇 夏休み玉手箱 桃谷中継
- 後七、三〇 日曜特輯ニユース演藝 早苗會兒童他
- 後八、〇〇 鳥の物語 田中末吉 西村定雄
- 後八、二〇 地唄 富崎春昇他
- 後九、〇〇 ラヂオドラマ「後の月」喜多村綠郎他



繞る瓦解の謎
悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

二一〇 蝦夷地へ!

勝先生は榎本君の意志の堅固にして如何に説くともこゝは解散いたすまいと思ひ

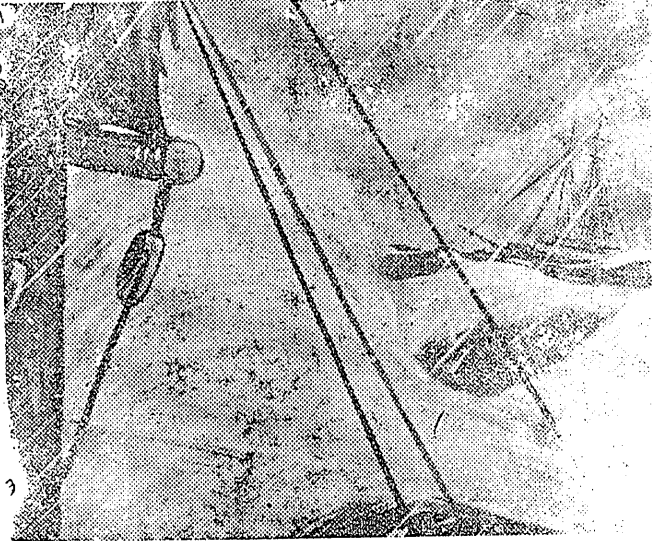
勝「船に戦闘準備をいたしあるは蝦夷地を占領いたさむとする外敵をふせぐためか、イヤ最もやうに思はれる。しかし榎本貴公はこの人数をひきこの船をひいて蝦夷地に参り開拓して人々の自活の道を講ずる所存であらうが、それは官軍には判るまい、穩かならざる行動と見て必ず兵を出すであらうさうなると戦ひになるな」

榎「吾々の意志の通ぜぬは天命、官軍が兵を出たさば戦ひを開きしその曲は彼等にござる、後世に至つて吾々の意志の潔白なることを知る者もござらう」

では俺は歸る、實は官軍からやかましくいはれてなそこでために参つたがその決心を聞く上はもう何も云はぬ、しかし成るべくおだやかにしろ、戦をしてはつまたぬよ、同じ日本に生を得た人々が敵味方となつて血をながすは愚なことだな、

昔はこれを武士の意地と申したのであらうが今の世にはおくれた思想だ、アハハハハ……」

と笑ひました。そこで勝先生はこゝを辭して艦長室を出る、すると室外には刀の柄に手をかけて殺氣をふくみし人々がズラリとなら



お待兼の……平名物(今年の!)

がつかつた榎「各々聞かれよ、われ等が蝦夷地に行くは官軍と戦を開くためならざるは豫て知られる事であらう、しかし今の時世はまことに血なまぐさく、ことに人事は豫測せしごとくには参らぬ、いつ如何なる大事がおこらむも知らぬ、またその様なこととはなしとしても蝦夷地に参る外國の軍艦の行動によつて弾丸を飛ばすこともあらうがその戦ひにて吾々が死なば吾々の赤心は後世には残るまい、さすれば吾は犬死を致す、勝安房殿の今日お越しなされたが幸ひに吾々意向は安房殿によつ

ば赤髯とんがり鼻もおどろくであらう、まづ一國家の爲めにつくしなさい」とかういひおいて解に打ち乗り悠々とこゝを去る。あとに榎本君は直ちに出勤の命令を發した、時は慶應四年八月十八日のこと。雨をふくみし空はどんよりと曇り海も次第次第に暗くなる、船を抜いて北海道を目的に品川灣を出た、こゝにはまた官軍より何ぞ申し参ると面倒と思ひ勝先生が戻ると直ちに船を出した。軍艦及び運送船を合して八艘、まづ房州館山に來てかねて徴集して置いた米その他食料品を積み込み館山をはなれて鹿島沖にかゝると暴風雨、波は高く風は強く雨はさながら銀箭を射るやう、海面は眞暗になつてドドンゴーツといふ

おそろしい音、船は木の葉のごとく煽られてつひに別れへになつた。美嘉保丸は機械を損じて下總の銚子に漂着した。これがために乗り組の者は船を捨て、陸上から奥州に行くことにした、また成臨丸は帆柱を折られ損じられたまた他の船にわかれて廿二日の夜駿州清水港に漂着した、一行はホット一息ついたが大破いたしたとこととてこのまゝにて航海することとが出来ない、そこで清水港にある船大工を雇うて修繕する、それが出来る間乗組の者は多く上陸して旅宿または寺に泊つてゐたが當時は幕府の境遇に同情するものが多く殿様殿様と尊敬して乗組員を土地の人は大事にいたしました。

お待兼の……平名物(今年の!)
七夕祭のエハガキ
色刷 八枚組 一組 二十銭
部数に限りありますから御早く御求めを願ひます。
平 驛 前
いづみや玩具店
弊院儀今般都合により元平郵便局裏二丁目裏川岸通りに移轉仕候従前通り診療に從事仕り候間右謹告仕り候
七月二十五日
田町五番地
明雲堂眼科醫院
新妻幸之助
電六六六九

夜 間
診 療
胃腸病科 内 科
花柳病科 性 病 科
皮膚科 門 專
院醫 性胃 村松
(番〇七一町南町平)

旅 大 三 館
私は平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄
前驛野上京東
角通横局便郵谷下
番七七六園谷下話電

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します
親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や難用 年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二番)
上原家政婦會
會主 産婆 上原通子